

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第2週[1月11日～1月17日]

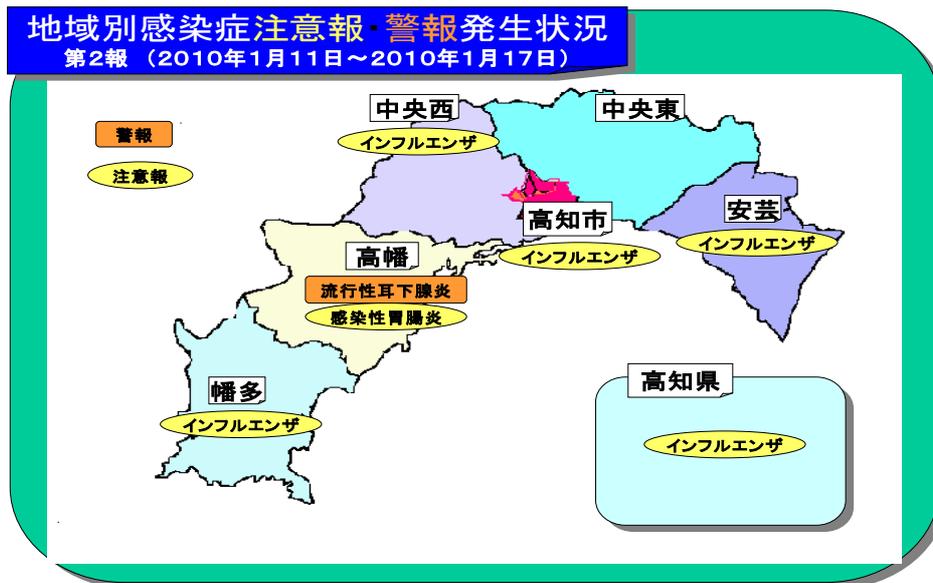
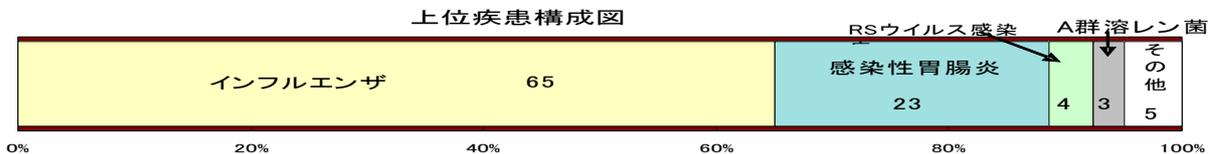
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

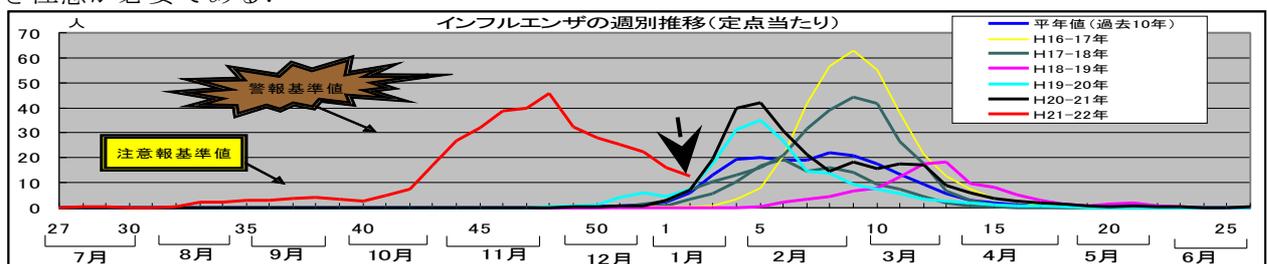
#### 注意報発令疾患：インフルエンザ

- 週を通して天気のいい日が続いたが、日中も気温が上がらず、平均気温はさらに低下した。
- インフルエンザ（中央西：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報）は全ての地域で減少し、総数は前週の約8割となった。
- 感染性胃腸炎（高幡：注意報）は中央西を除く地域で増加または横ばいとなり、総数は前週の1.4倍となった。前週に引き続き今冬シーズン2例目となる集団感染が幡多で確認された。
- 流行性耳下腺炎（高幡：警報）は県全体では低いレベルで推移しているが、高幡では昨年の第50週以降注意報値を越す流行が続いており、今週は警報値を越した。今後の推移が注目される。



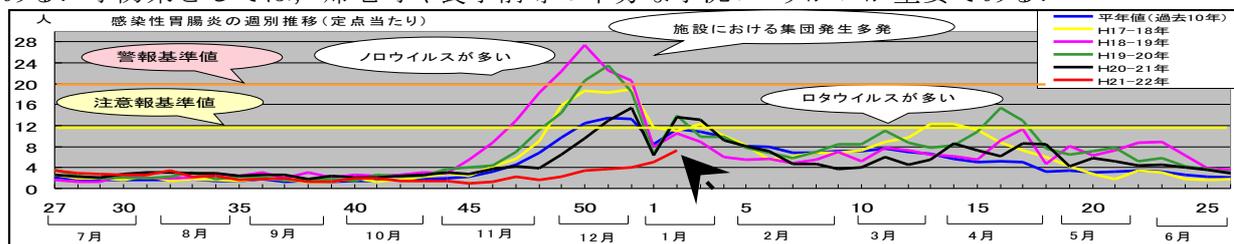
### インフルエンザ：今週12.71 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

全ての地域で減少し、総数は昨年の第48週をピークに7週連続で減少している。年齢別の割合では20歳代は減少し14%となったが、5～9歳が再び増加し全体の25%を占めている。今後の推移の予測は難しいが、例年であればこれからがインフルエンザの本格的な流行シーズンであり、引き続き注意が必要である。



## 感染性胃腸炎：今週7.33（注意報値：12.00 警報値：20.00）

中央西を除く地域で増加または横ばいとなり、総数はさらに増加した。特に高幡では前週の3倍に増加し、注意報値を超した。1月16日には幡多でNorovirusによる集団感染が確認された。また、今週搬入された検体からはNorovirus GⅡが4件検出されており、今後の推移に注意が必要である。予防策としては、帰宅時や食事前等の十分な手洗い・うがいが重要である。



## 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
2	百日咳	10歳男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
49	クループ	1歳男	高知市	RSvirus
1	感染性胃腸炎	8歳女	高幡	Adenovirus 40/41
2	感染性胃腸炎	9ヵ月男	高幡	Noro virus GⅡ
2	感染性胃腸炎	1歳男	高幡	Noro virus GⅡ
2	感染性胃腸炎	4歳男	高幡	Adenovirus 40/41
2	感染性胃腸炎	1歳女	高幡	Noro virus GⅡ
2	感染性胃腸炎	1歳男	高幡	Noro virus GⅡ

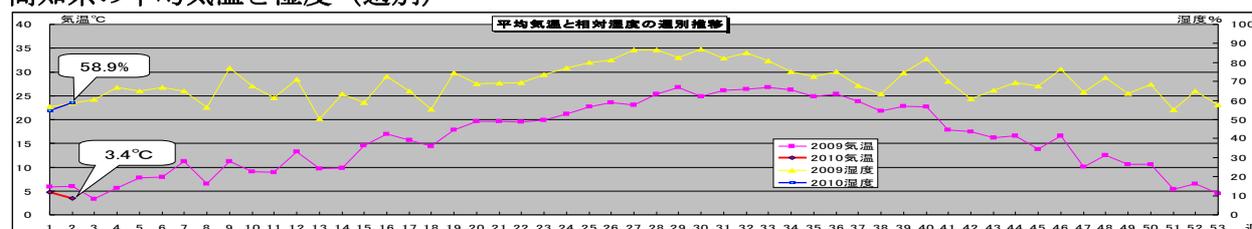
インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が16件検出された。

地域	年齢区分						総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	
高知市		1	1		1		3
高幡	4	5	3			1	13
総計	4	6	4	0	1	1	16

## 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 3例（58歳女）《中央西》（45, 54歳女）《高知市》（今年4例）

## 高知県の平均気温と湿度（週別）



## 定点からの地域ホット情報

### 幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの29例中26例はA型陽性，3例は臨床診断

《渭南病院小児科》：インフルエンザの19例は全てA型陽性

RSウイルスによる細気管支炎 2例（1歳男）

《木俵病院小児科》：インフルエンザの13例は全てA型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの20例中17例はA型陽性，3例は臨床診断，2例は予防接種歴あり

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの10例は全てA型陽性

《松谷内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性，季節性ワクチン接種済み1例，

新型・季節性ワクチン接種済み1例

### 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの18例は全てA型陽性，うち2例は新型ワクチン接種2回済み

感染性胃腸炎が増加傾向

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの11例は全てA型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの5例中4例はA型陽性，1例はB型陽性

### 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの17例は全てA型陽性，うち5例は予防接種済み

ヘルペス性歯肉口内炎 1例（4歳女）

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの27例は全てA型陽性，うち13例は予防接種歴あり

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの29例は全てA型陽性

#### 高知市：

《矢野小児科》：インフルエンザの24例中3例は予防接種歴あり

《福井小児科・内科》：インフルエンザの13例は全てA型陽性

《高知赤十字病院小児科》：インフルエンザの3例中2例はA型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの24例は全てA型陽性，うち3例は予防接種歴あり  
アデノウイルス扁桃炎 2例（0歳女，3歳男：兄妹）  
カンピロバクター腸炎 1例（8歳男）

《塩見クリニック》：インフルエンザの9例は全てA型陽性

《依岡内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの8例中7例はA型陽性，1例はB型陽性，  
予防接種歴ありは4例

《細木病院内科》：インフルエンザの6例は全てA型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの27例中22例はA型陽性

《近森病院内科》：インフルエンザの39例中30例はA型陽性，予防接種歴ありは3例，なしは5例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性，予防接種歴ありは1例

#### 中央東：

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの5例は全てA型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの11例は全てA型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの4例はA型陽性，うち1例（4歳男）は新型・季節性ワクチン2  
回ずつ接種済み，1例（4歳女）は新型ワクチン1回済み

《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎の1例（1歳女）はアデノウイルスに感染

某保育所で嘔吐，下痢，発熱症状流行中

インフルエンザの3例は全てA型陽性，うち2例は予防接種歴あり

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの19例中14例はA型陽性，5例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性，予防接種歴なし

《野市中央病院内科》：インフルエンザの5例は全てA型陽性

#### 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの28例中19例はA型陽性

《田野病院小児科》：インフルエンザの7例は全てA型陽性

### 全国情報第52週（12/21～12/27）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核315例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症18例（有症者9例、うちHUS なし）

4類感染症：A型肝炎2例、オウム病1例、つつが虫病23例、デング熱1例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎（B型）2例、急性脳炎4例、後天性免疫不全症候群11例（AIDS  
3例、無症候7例、その他1例）、梅毒5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例、麻しん2  
例

報告遅れ：デング熱1例、日本紅斑熱3例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイ  
シン耐性腸球菌感染症3例、風しん1例

### 全国情報第53週（12/28～1/3）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核132例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症16例（有症者10例、うちHUS 1例）

4類感染症：つつが虫病13例、レジオネラ症3例

5類感染症：アメーバ赤痢5例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、後  
天性免疫不全症候群4例（無症候3例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒3例、破傷風1例、麻しん  
2例

報告遅れ：エキノコックス症2例、急性脳炎6例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

#### ◆ インフルエンザ

インフルエンザの定点当たり報告数は、2009年第49週以降減少が続いている。第53週の定点当たり報告数  
は10.22（報告数48,128）となり、前週の値（定点当たり報告数19.63）よりもさらに大幅に減少がみられた。

都道府県別では沖縄県（54.88）、岐阜県（23.43）、福井県（22.69）、宮崎県（20.92）、高知県（19.21）、  
滋賀県（18.52）、島根県（16.76）、鹿児島県（16.33）、静岡県（15.87）、熊本県（15.44）の順となってい  
る。定点当たり報告数は、46都道府県で前週よりも減少したが、唯一増加が認められた沖縄県では、第50週以  
降増加がみられている。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計す  
ると約63万人（暫定値）となり、第28週以降これまでの累積の推計患者数は約1,816万人となった。性別では  
男性約941万人（51.8%）、女性約877万人（48.2%）であり、年齢群別では5～9歳約475万人（26.2%）、10～14  
歳約445万人（24.6%）、15～19歳約256万人（14.1%）、0～4歳約198万人（10.9%）、20～29歳約173万人  
（9.6%）、30～39歳約125万人（6.9%）の順となっている。第53週は多くの年齢群で減少がみられているが、  
20歳代のみで2週連続して増加が認められた。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(1週)	高知県(2週末累計) H22/1/4~H22/1/17
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	42	71	238	101	35	123	610 ( 12.71)	777 ( 16.19)	43,759 ( 9.18)	1,387 ( 28.90)
	咽頭結膜熱								1 ( 0.03)	389 ( 0.13)	1 ( 0.03)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	16	2		3	24 ( 0.80)	26 ( 0.87)	2,151 ( 0.72)	50 ( 1.67)
	感染性胃腸炎	22	23	89	22	30	34	220 ( 7.33)	153 ( 5.10)	25,874 ( 8.60)	373 ( 12.43)
	水痘		4	12	1	2	1	20 ( 0.67)	27 ( 0.90)	5,522 ( 1.84)	47 ( 1.57)
	手足口病								3 ( 0.10)	318 ( 0.11)	3 ( 0.10)
	伝染性紅斑		2	2				4 ( 0.13)	1 ( 0.03)	221 ( 0.07)	5 ( 0.17)
	突発性発疹			6	4		1	11 ( 0.37)	6 ( 0.20)	1,485 ( 0.49)	17 ( 0.57)
	百日咳								1 ( 0.03)	62 ( 0.02)	1 ( 0.03)
	ヘルパンギーナ		1				1	2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	62 ( 0.02)	3 ( 0.10)
	流行性耳下腺炎			1			6	7 ( 0.23)	5 ( 0.17)	3,012 ( 1.00)	12 ( 0.40)
	RSウイルス感染症	6	9	20			2	37 ( 1.23)	27 ( 0.90)	3,355 ( 1.12)	64 ( 2.13)
アフター性口内炎	1	1	1				3 ( 0.10)	2 ( 0.07)		5 ( 0.17)	
眼科	急性出血性結膜炎									14 ( 0.02)	
	流行性角結膜炎									316 ( 0.47)	
基幹	細菌性髄膜炎									11 ( 0.02)	
	無菌性髄膜炎									8 ( 0.02)	
	マイコプラズマ肺炎									153 ( 0.33)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 ( 0.14)	18 ( 0.04)	1 ( 0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	73 ( 26.00)	112 ( 12.31)	385 ( 28.24)	130 ( 29.87)	73 ( 27.75)	165 ( 23.78)	938 ( 23.64)				
前週 (小児科定点当たり人数)	73 ( 25.25)	140 ( 14.70)	443 ( 30.64)	147 ( 34.07)	58 ( 19.75)	170 ( 23.13)		1,031 ( 24.62)	86,730		1,969 ( 48.26)

定点当たり

第2週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ	10.50	6.45	14.88	20.20	8.75	15.38	12.71	16.19
	咽頭結膜熱								0.03
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.14	1.45	0.67		0.60	0.80	0.87
	感染性胃腸炎	11.00	3.29	8.09	7.33	15.00	6.80	7.33	5.10
	水痘		0.57	1.09	0.33	1.00	0.20	0.67	0.90
	手足口病								0.10
	伝染性紅斑		0.29	0.18				0.13	0.03
	突発性発疹			0.55	1.33		0.20	0.37	0.20
	百日咳								0.03
	ヘルパンギーナ		0.14				0.20	0.07	0.03
	流行性耳下腺炎			0.09		3.00		0.23	0.17
	RSウイルス感染症	3.00	1.29	1.82			0.40	1.23	0.90
アフター性口内炎	0.50	0.14	0.09				0.10	0.07	
眼科	急性出血性結膜炎								
	流行性角結膜炎								
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎								
	マイコプラズマ肺炎								
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.14
計 (小児科定点当たり人数)	26.00	12.31	28.24	29.87	27.75	23.78	23.64		
前週 (小児科定点当たり人数)	25.25	14.70	30.64	34.07	19.75	23.13		24.62	

## 2010年週報推移(定点当たり)

